

秋深まる11月9日(土)、大阪府三島郡島本町において、関西慶應寮和会第16回定例懇談会が、初参加の小川寛さんを始めとして20名の出席者のもと開催されました。

<参加者> 敬称略 (20名: 部分参加も含む)

S 4 1 法 相本 琢郎	S 4 2 法 酒井 克己	S 4 5 文 井汲 清嗣
S 4 6 商 宮 純一	S 4 7 経 松尾 哲雄	S 4 9 工 小川 寛
S 4 9 工 三角 竜二	S 5 2 工 青嶋 義晴	S 5 3 商 西村 元秀
S 5 5 商 袖岡 稔	S 5 5 法 山代 和也	S 6 1 商 阪本 光宏
S 6 1 経 永末 一郎	S 6 1 経 山岸 秀聡	H 0 2 法 竹崎 誉
H 0 3 理 豊田 秀明	H 0 4 商 井内 達彦	H 0 5 経 浄住 徹朗
H 1 0 理 兵藤 公治	H 1 6 経 宮崎 博	

## 【第1部】サントリー山崎蒸溜所見学(19名)

テーマ：人間関係潤滑剤 関西ウイスキーを知る

今回は、アルコールシリーズの第3弾(第3回京都伏見：月桂冠酒蔵、第8回長岡京：サントリービール工場)として、大阪府島本町にあるサントリー山崎蒸溜所を見学しました。

最初に訪れたのは、サントリー山崎蒸溜所です。まさにウイスキーの匠とも言えるガイドさんから、創業者であり山崎蒸溜所の建設を着手した鳥井信治郎氏の人物像や功績について説明がありました。

その後、工場内の施設を見学しました。発酵槽・蒸溜釜などを見学した後貯蔵庫を見学しました。(写真1、2)

貯蔵されている樽は2,000~3,000個と言われ、貯蔵庫内はウイスキーの香りで満ちあふれていました。中でも目を引いたのが、1924年の我が国初のモルトウイスキーの熟成樽でした。鳥井信治郎氏の「いつの日か日本人の手で、世界に誇るウイスキーをつくりたい」という想いがこの樽に受け継がれていると感じました。(写真3)



写真1. 発酵槽を見学



写真2. 蒸溜釜を見学

見学会のフィナーレは、お楽しみの試飲会。7種類のシングルモルトウイスキーが用意されました。ガイドさんから、おのこのの産地、製法、樽の種類、香や味の特長の解説を聞きながら順番に試飲し、参加者はウイスキーの利き酒師になった気分で、うんちくを語り合っていました。

(写真4、5)

また、おいしいハイボールの作り方が紹介され、参加者からは「早速家で実践しよう」という声が聞こえてきました。

<詳細は下記のURLをご覧ください>

<https://www.suntory.co.jp/factory/yamazaki/>



写真3. ↑モルトウイスキーの熟成樽に魅了  
← 1924年の我が国初のモルトウイスキーの熟成樽



写真4. 用意されたシングルモルト



左から:山崎、白州、グレンフィディック12年、マッカラン ダブルカスク  
12年ボウモア 12年、ラフロイグ セレクト、オーヘントツシャン 12年



写真5. 説明を聞きながら試飲会

見学終了後、シングルモルトでほろ酔い気分の中、懇親会場までの道中にある「水無瀬神宮」に立ち寄りました。（写真6）

水無瀬神宮は、1240年、後鳥羽天皇の離宮であった水無瀬殿の跡に建立され、後鳥羽天皇・土御門天皇・順徳天皇が祭られています。

見渡せば 山もと霞（かす）む 水無瀬川 タベは秋と 何思ひけむ  
（新古今 後鳥羽上皇）

また、神宮内には、大阪で唯一環境庁に「名水百選」に選ばれた「離宮の水」が飲める場所があります。水無瀬川の伏流水が井戸から汲み上げられており、古くから名水とされており、歩き疲れた参加者の喉を潤しました。



水無瀬神宮外観

## 【第2部】総会(19名) <18:30~18:45>

懇親会場となる三島郡島本町の「居酒屋ぽんちゃん」にて、青嶋義晴事務局長の司会で、令和元年度総会を開催しました。冒頭、今期で会長を勇退する松尾哲雄会長よりご挨拶がありました。

### <松尾会長挨拶>

皆様のご支援を受け、4年間、設立時の基本理念（往時を偲ぶだけではない未来志向の寮和会）を踏まえ、会員相互の研鑽、親睦を図る事には何らかの寄与が出来たと思います。ただ、古希を過ぎたこともあり、優秀な方々に引継ぎより一層の発展を期したいと存じます。

今後とも当会の「楽しめ、勉強になり、一味違う」活動には参加して、御恩返しが出来れば幸いです。有難うございました。

### <決議事項>

・第Ⅳ期（自平成30年1月1日 至令和元年12月31日）会計報告  
上記期間における収支計算書により会計報告があり、全会一致で承認されました。

### ・第Ⅴ期役員改選

第Ⅳ期役員の任期が令和元年12月31日に満了するのに伴い、第Ⅴ期役員候補者の提案があり、異議なく、承認可決されました。

選出された役員4名は、以下のとおりです。

会長	青嶋義晴（昭和52年工卒）	<新任>
会長補佐	西村元秀（昭和53年商卒）	<新任>
会計	井内達彦（平成03年商卒）	<新任>
会計監査	松永修（昭和58年工卒）	<新任>

### 【第3部】懇親会 <18:45～20:30>

総会終了後、西村元秀さんの司会で、今回で退任する三角会長補佐から次期役員の方々と共に関西慶応寮和会が『ワンチーム』で益々発展していくことを祈念して乾杯の発声があり、お楽しみの懇親会を開宴しました。

宴会の中ほどには、初参加の小川寛さん、東京から5年ぶりに出席された永末一朗さん、6月に叡山鉄道の社長に就任された豊田秀明さんから挨拶と近況報告がありました。

中締めとして、青嶋義晴次期会長からご挨拶がありました。宴の締めとして、西村さんのエールで若き血を全員で熱唱、全員で記念写真を撮影し、名残惜しくお開きとしました。

#### <青嶋新会長挨拶>

由良先輩、松尾先輩の後を継ぐことになりました。宜しくお願いします。今日のサントリー山崎工場の見学でウイスキーの奥の深さを感じました。

樽の中で何年も寝かすことで、あの芳醇なモルトが生まれ、個性の違うモルトをブレンドして、こくのあるウイスキーが誕生する。多くの寮生がブレンドしあう集まりにできたらと思います。

引き続き皆さんの御協力をお願いします。

### ○編集後記（松永）

今回のテーマは<人間関係潤滑剤 関西ウイスキーを知る>でしたが、一つの答えを青嶋新会長から示唆していただいたように思います。寮和会活動は回顧主義ではなく、活動を通して様々な年代がブレンドし互いに成長していければと思います。

今回の総会で松尾会長、三角会長補佐が退任されることになりました。4年間本当にご苦労様でした。令和2年からは青嶋新会長の体制のもと、ますます盛り上げていきたいと考えていますので、会員の方々のご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

末筆になりますが、私こと広報室長の任を令和2年より若手に引き継がせて頂きます。関西慶応寮和会の発足以来8年余り、（関西寮和会新聞発行）や（寮和会新聞寄稿）などの広報活動を通して、活動推進の一助になれたのではと考えています。これも皆様のご指導、ご鞭撻があったこと。ありがとうございました。

新聞作りの中で特に楽しかったのは、発行後に会員の方々から感想を知らせて頂くことがあり新聞を通して皆様と交流を持つことができたことです。

今後もスタッフとして活動して参りますのでよろしくお願い致します。

以上